

8

河川名

たかおがわ

御笠川水系

高尾川

特徴・アピールポイントなど

都市部における短期間での事業効果発現を可能とした、再度災害防止対策を行います。



8月22日の未明から朝方に向け、寒冷前線の南下に伴い発達した雨雲により局所的に猛烈な豪雨が発生。高尾川近傍の太宰府雨量観測所では最大1時間雨量が98.5mm(4時05分)になるなど、8月としては既往最大値を記録しました。



平成26年8月 筑紫野市二日市水道橋下流

被害状況

H26.8.22
高尾川水道橋付近

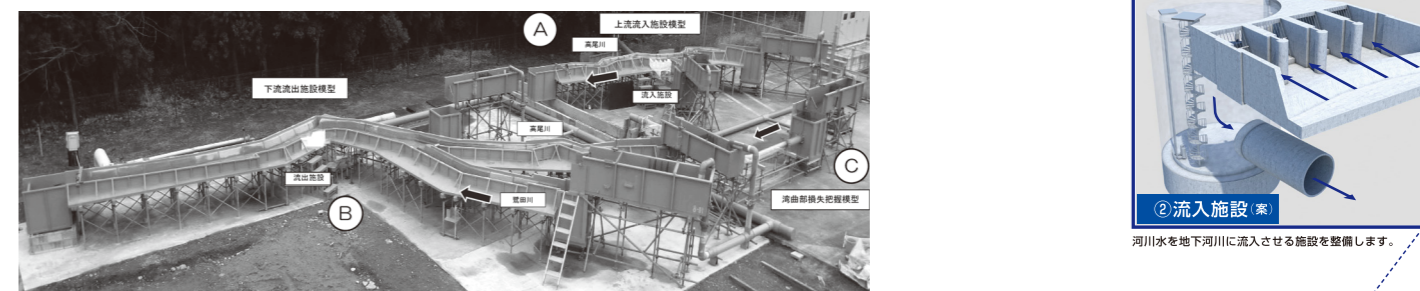


災害からの復旧で環境に配慮した事例

平成26年8月の局所的な豪雨により、沿川で多数の浸水被害が発生した高尾川では、床上浸水対策特別緊急事業により、平成27年度から概ね5年間で整備を行っています。

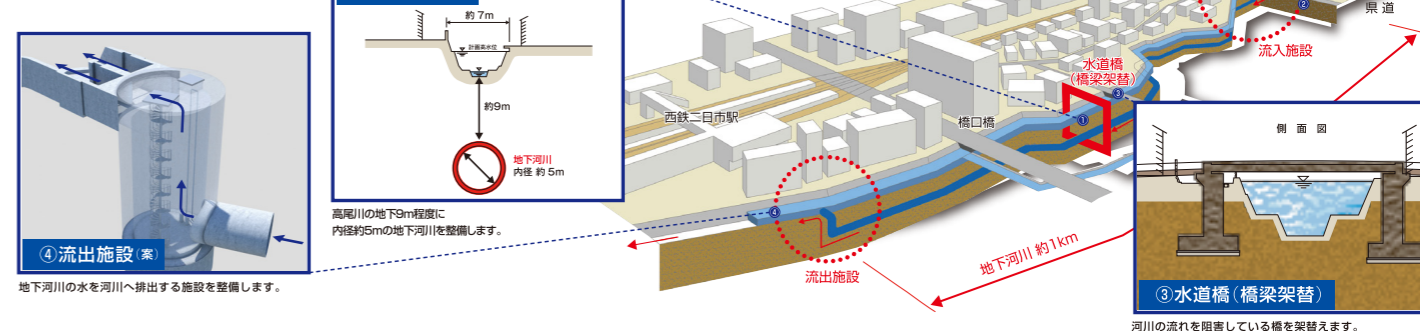
高尾川は筑紫野市の中心市街地を流れており、沿川には江戸時代から続く酒蔵があるなど、古くから宿場町として栄えてきました。改修においては、地下河川による工法を採用し、商店街などの景観に影響を与えないような改修を行っています。

水理模型実験



A:流入施設実験、B:流出施設実験、C:湾曲による影響実験

地下河川イメージ図



大賀酒店(福岡県で一番古い酒蔵)

大賀家は江戸時代、宿場町・二日市の庄屋でした。屋敷の敷地内に、宝満山の伏流水が沸く井戸があり、その豊かな水量と優れた水質に感謝し、延宝元年(1673年)に酒造りを始めました。



二日市中央通り商店街

栄町交差点から大賀酒店付近に至る通りには、70以上の店舗が並び商店街となっています。年間を通して様々なイベントも行われ、多くの人で賑わいます。

